

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

1月号

Vol.188

毎月1日発行

ゆるる 杜の伝言板



『せえーのっ! ドンドコ ドンドコ……』

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業

特集

復興への
道

掲載団体

NPO法人FOR YOU にこにこの家

とめコミュニティサポートネット

NPO法人パソコンママネット

NPO法人水守の郷・七ヶ宿

財団法人愛知揆一福祉振興会

【トピックス】

NPO法人ミューズの夢10周年記念コンサート



NPO法人FOR YOUにこにこの家（以下、にこにこの家）は、仙台市太白区東中田地区で、地域福祉に取り組んでいるNPO法人です。高齢者のためのサロンや、仙台市東四郎丸児童館の指定管理、地域住民や親子のための事業を行っています。

東日本大震災の際は、ライフラインが止まり困っている地域住民のために、炊き出しや在宅高齢者への配食などの支援をしました。

震災以降は「心の輪事業」として支援を継続。具体的には、兵庫県西宮市の企業を通して市民から集められた本の窓口となり、「宮城県の児童館に絵本を贈るプロジェクト」などを行っています。

●●● 震災後の地域課題解決へ ●●●

これまでも、地域のためにさまざまな活動をしてきましたが、震災以降、特に学校と地域団体との連携の重要性を感じ、またこうした災害時の子ども達の心のケアと地域コミュニ

ニティの繋がりが課題だと、理事長の小岩孝子さんは考えるようになりました。

東中田地域には三つの小学校（四郎丸小、東四郎丸小、袋原小）がありますが、これまでそれぞれの校区の子どもたちや父兄が交流する機会には東四郎丸児童館の支援団体「かにつこちゃんS」のイベントのほかにはあまりありませんでした。

そんな折、二〇一一年十一月に東四郎丸小学校の三十周年記念学芸会



▲大人も子どもも太鼓の練習を通して、地域の連携を強めました

に招かれ、小学生による和太鼓演奏を地域の多くの方たちが喜んでいる姿を見ました。東中田地区は『閑上太鼓』で有名な名取市閑上地区と隣接しており、和太鼓に特別な思い入れをする方が多くいます。

向けて披露する計画です。十二月十五日には、四郎丸小学校で一回目の練習が開かれました。当日は小学生十五人を含む、親子や地域の方など三十人以上が参加。わかりやすい指導のもと皆真剣に練習に取り組み、最後には二チームに分かれて発表も行いました。参加した親子からは「子どもとこうして共通体験をする機会がなかなか無いので、ありがたい」との声も。

「これだ！ と思いました」と小岩さん。

昨年の七月、にこにこの家の拠点会場に、東中田地区の三校の親や校長先生、教頭先生、地域住民などで懇談会を開催。後日地域の学校関係者を交え懇談会で見えてきた地域の課題などを話し合った際、『三校の子どもたちが協同で何かに取り組めば、地域で繋がりができるのではないか』という話になり、にこにこの家が進めている和太鼓プロジェクトを提案。参加者が賛同して、三校協同で「東中田和太鼓プロジェクト」に取り組むことになりました。

四郎丸小の門間和彦教頭先生は「三校の子どもたちと地域の方が一緒に太鼓を叩くことにはとても意味があります。子どもたちにはこうした経験をもとに自分たちの地域に自信を持ってほしいと願っています」と話しました。

●●● 学校も地域も太鼓でつながる ●●●

「東中田和太鼓プロジェクト」は、にこにこの家、三校の教師やPTA、学校支援本部、児童館の支援団体、地域のさまざまな団体などが集まって企画を練り、太鼓の指導は仙台市太白区秋保地域を拠点に活動する「ほうねん座」に依頼し、オリジナル曲も作成してもらうことになりました。今年度は計四回の練習を開催する予定で、最終的には、地域に

「子どもも高齢者も障がいを持つ人も、みんなが元気になる地域」を目指し、活動が続けるにこにこの家。地域の課題解決に向けて、これからも歩み続けます。

NPO法人 FOR YOU にこにこの家

〒981-1101 仙台市太白区四郎丸神明16-2
●TEL/FAX : 022-241-0858
●URL : <http://www.k4.dion.ne.jp/~nikoniko/infomati.htm>

住民が作ったココロ休まる家

●とめコミュニティサポートネット

昨年十一月二十三日、登米市迫町大網地区に登米市長を始め、四十人ほどの人々が集まり、居酒屋「心家（ココロカ）」のオープンを祝いました。

●仮設住宅の人々との交流の場を●●●

登米市には南三陸の被災者が避難してきている南方仮設住宅があります。イオンショッピングセンター南方店跡地に建てられた三五一戸の仮設住宅です。震災以降、登米の人々は南三陸から来た人々とどう協調できるかを図り続けてきました。

今回の居酒屋型コミュニケーションスペース「心家」もその試みの一つ。登米のまちづくりを中心に活動しているNPO法人とめタウンネット（以下、とめタウンネット）、商店主らを中心に地域活性化を目指す大網商工振興会、そして登米市の三者からなる協議体「とめコミュニティサポートネット」がプロジェクトの企画・運営を担いました。「南方仮設の人々からもコミュニティスペースが欲しいという声が上が

がっていた。南三陸から来た方々にとって、登米にある既存の施設は気軽に使えるものではなく、仮設内にある集会所では登米市民との交流が図りにくい」大網商工振興会の事業部長でとめタウンネットの理事長でもある及川幾雄さんがプロジェクトの背景を話してくれました。

そのようなわけで、登米と南三陸の人々が協働してコミュニティスペースを作り上げるプロジェクトがスタートしました。

●●●住民の力で再生●●●

「心家」は古民家を再生したと言えは聞こえがいいのですが、実際には築五十年のあばら家をリフォームしたものの。リフォーム費用を見積もってみると一〇〇〇万円。ただし実際の工事費用は四〇〇万円ほどでした。宮城県による「第三次新しい公共の場モデル事業」に選ばれたことで得られた補助金からリフォームに四〇〇万円を回したほか、人件費の多くはボランティアの力を借りる

ことで乗り切りました。

あばら家の片づけ、解体、壁塗り、床張り、ペンキ塗りなど、人手が必要となる場面に駆けつけたボランティアはのべ五〇〇人を超えました。「人手という意味でも助かったけど、ボランティアとして自ら手掛けてもらうことで、自分たちが作り上げたんだという実感を持ってもらいたかった」と及川さん。ボランティアには小学生以下のちびっ子たち「お手伝いkids」も参加しています。玄關床のタイルなどに子どもならではの創造性が散りばめられました。

●●●支援するされるの関係ではなく●●●

「心家」は不定休で午前十時から午後十時まで開所します。夜は居酒屋として営業しますが、昼は子どもや母親たちが集えるスペースとして開放されています。仮設住宅の女性たちを集めて、弁当作りをしてはどうか、という話もあります。居酒屋では、登米の農産物、南三陸の海産物など地元の食材を使ったメニューが提供されます。

面白いのはシャワールームが備えられている点。これまで外部から訪れたボランティア団体などがお酒を片手に語り合い、さらには宿泊できるように施設が登米にはあまりありませんでした。「心家」はその役割を担うことも期待されています。



▲「心家」のオープンには南方仮設の方々も駆けつけました

今年の三月までは協議体が「心家」の運営を担いますが、四月以降は協議体の中心であったとめタウンネットが引き継ぐ予定です。「登米とか南三陸でもなく、支援する側される側でもなく、この地域に住む人同士として交流できる場になれば」と及川さんは言います。そこに集った人同士が、何の隔たりも感じずに居心地良く過ごせる空間。支援ではなく共生を目指す、これも復興の一つの形かもしれません。

とめコミュニティサポートネット (NPO法人とめタウンネット)

〒987-0511 登米市迫町佐沼字大網218-1
●TEL : 0220-44-4210
●FAX : 0220-44-4202
●E-mail : info@tometown.net
●URL : http://www.tometown.net

笑顔の 集まる、 パソコン教室 ●NPO法人パソコンママネット

石巻市でパソコン操作のサポートやパソコン教室を行っているNPO法人パソコンママネット（以下、パソコンママネット）は現理事長の遠藤一恵さんと現副理事長の平岩由紀子さんから七人の『ママ友』によって二〇〇二年七月に設立されました。教室で使用する教材テキストは全て手作りです。パソコン操作については個人指導もしています。二〇〇三年七月の法人化以降も、十年近く地域に寄り添った活動をしてきました。

●●● 継続の危機を乗り越えて ●●●

二〇一一年三月十一日の震災は、パソコンママネットの活動を大きく左右する出来事でした。

震災直後、長年パソコン教室を開催していた市の公共施設メディアシップが避難所となり、使用できなくなりました。また、パソコンママネットの事務局も床上浸水の被害が出ました。パソコン機器も水に浸かり、もちろん使用できる状態ではありませんでした。

「自宅も被災し、なかなか事務局に足を運べませんでした。みんなで話し、活動を止めることを考えていた時期もありました」と平岩さん。しかし、平岩さんには遠藤さんからの「事務局（の建物）は大丈夫だから、活動はできる」という言葉がずっと印象に残っていました。

そのうち地域の方々から「倒れたパソコンが使用できるか見てほしい」、「パソコンの接続や設定で困っている」という相談も寄せられるようになりました。

活動する場所があり、求める声があるならば、と震災後一か月で少しずつ活動を再スタートしていくことを決めました。

●●● 情報共有のできる場所 ●●●

その後、六月には、パソコン数台の支援がありました。早速、パソコンを持って避難所となっていた石巻中央公民館や仮設住宅で『出張インターネット体験』を開催しました。公民館にはもともと設置されている

パソコンがあるものの、「若い人が使っているから」「パソコンの操作ができないから」と年配の方は遠慮がちでした。体験会ではそのような人々にも心おきなくYouTubeで演歌を聴いたり、ネットで買い物をしたり、和気あいあいと過ごしてもらったことができました。

また、八月には休止していたパソコン教室を再開。公共施設を使える用途がつかないなか、それまでは個人指導のみに使用してきた事務局に机を買い足し、教室に変えました。定員は六人と、それまでの三分の一の人数です。それでも、被災し、仕事がない時期だからこそ、今のうちにパソコン操作を身につけたいという参加者が多く、教室は盛況でした。この体験会やパソコン教室には別の側面も。「知らない人たちが集まって、情報を共有する場になっていま



▲受講者にメールソフトの操作を教える平岩副理事長

した。それぞれの震災の経験談には共感すること、分かり合えることがたくさんあったと思います」と平岩さん。パソコンを通じ、被災した人々がつながる場が作られたのです。

●●● これからも石巻のために ●●●

昨年には、パソコン教室の回数も震災以前のように、ほとんど毎日開催するようになりました。また、石巻に暮らす人に役立つと思えば独自で情報提供しています。地域のためにという想いは設立以来ずっと変わ

りません。平岩さんは「事務局がなくならない限り、活動を続けていきます。他の団体とも協力をはかって何かパソコン教室以外の流れも作りたいと思います」と今後を展望します。

パソコン教室の参加者からは「今の石巻市には他になかなか行くところがない。楽しいから来ている」との言葉が聞かれました。「たくさん野菜がとれた」と野菜を持つてくる会員さんもあります。今のパソコンママネット事務局には、地域の人々の笑顔が絶えません。

NPO法人パソコンママネット

〒986-0873 石巻市山下町2-2-50
●TEL/FAX: 0225-23-0822
●URL: <http://www.pasomama.com/>

「山と海がつなぐ未来へ」

●NPO法人水守の郷・七ヶ宿

仙台市を含む県民一八三万人の水がめ「七ヶ宿ダム」がある、七ヶ宿町を拠点に活動する、NPO法人水守の郷・七ヶ宿（以下、水守の郷）。持続可能な環境づくりをミッションに、二〇〇八年にNPO法人化した。自然に直接触れて知る「七ヶ宿山がっこ」や、耕作放棄地の再生、山林の保全活動を行っています。

●●●相川地区にボランティア拠点を●●●

震災直後、「何かしなければ」という想いで石巻にボランティアとして入り、支援物資の配送を行っていた理事長の海藤節生さん。

水守の郷として支援を始めたのは「チェンソーを石巻のがれき撤去のために貸してほしい」という一言がきっかけでした。

チェンソーの取り扱いが難しいことから、『山の男』である水守の郷のメンバーと七ヶ宿町の有志が集まり、石巻市北上町十三浜の相川地区に入りました。

「被災した地域の自然環境を再生す

ることと、私たちのミッションが重なりました」と海藤さん。

活動当初は民地への立ち入りが禁止されていたため、河川の泥出しや打ち上げられた木材、がれき撤去を行い、木材は資材として使えるよう製材。資材にならない部分は炭にして再利用できるようにしました。

支援に入った相川地区はアクセスが悪く、ボランティアセンターのような拠点もなく、ボランティアの参加者が少ない地域でした。

そこで、現地の民家を借り、ボランティア活動する人たちのための宿泊施設を整備。他県からのボランティア参加者のコーディネートも行い、二〇一一年十二月までのべ七七一人のボランティアを受け入れました。

また、団体の強みを生かして、田畑の再生にも乗り出しました。そば畑や農園を作り二〇一一年秋には、収穫したそばを仮設住宅に住む皆さんに振る舞うことができました。

●●●支援の形が変わってくるなかで●●●

昨年九月〜十月には、相川地区、七ヶ宿町の二か所で音楽祭を開催。七ヶ宿の会場では、十三浜の有志が石巻名産の海産物を販売するなど運営に関わりました。

その音楽祭で得た資金で、相川地区十三浜の仮設住宅集会所前にウッドデッキを設置。さらにウッドデッキにはかまどなど、地域の人々が望むものも作りました。

また相川地区では津波で相川小学校と吉浜小学校の校舎が全壊。この二校は統廃合によってなくなってしまう。

その相川地区の人々からは次のような声が。「このままでは、自分たちの大切な地域を忘れてしまう。校歌を歌うことで世代を超えてつながる場所を」

この声を聞いて開催されたのが『語り継いでいく音楽祭』。相川小学校、吉浜小学校の校歌を歌い、この地域を忘れないという想いを新たにしました。

このように地元七ヶ宿を離れ、石巻相川地区の支援を継続してきた水守の郷。じつは七ヶ宿と相川地区には共通点があるといいます。それは山と海の違いはあれど、それぞれ地域の自然を大切に生活しているという点。



▲相川地区十三浜の仮設住宅集会所前にはウッドデッキも設置しました

「漁業を生業に、そこに住み海を守ってきた相川の人々の想い。過疎化する七ヶ宿で山に人が住むことの大切さを認識し活動する水守の郷。被災地支援という言葉にこだわらず、これからもつながりながらともに未来を創っていききたい」海藤さんはそう語ります。

地元、県外関係なく、自然と人の関係性を考える場、活動に関われる場を提供できるよう、今後も活動を続けていきます。

NPO法人水守の郷・七ヶ宿

〒989-0532 刈田郡七ヶ宿町字根添26番地1

●TEL/FAX : 0224-37-2171

●URL : <http://www.mizumori7.org/index.html>

第五回 みやぎ社会貢献大賞報告

● 財団法人愛知揆一福祉振興会

昨年十二月一日、財団法人愛知揆一福祉振興会による助成事業「第五回みやぎ社会貢献大賞」の二次審査が行われました。

審査会は愛知絢子理事長による開会挨拶に始まり、まず前々年度の受賞団体であるNPO法人麦の会の飯嶋茂代表理事、前年度の受賞団体NPO法人創る村の飴屋善敏理事長から受賞に対する感謝の言葉と受賞以後の活動報告がされました。

● ● ● プレゼンによる活動アピール ● ● ●

続いて二次審査対象団体からのプレゼンテーション。書類審査を通りこの日プレゼンを行ったのは、NPO法人浦戸アイランド倶楽部（以下、浦戸アイランド倶楽部）、NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元（以下、ささえ愛山元）、NPO法人ナルク宮城「けやきの会」（以下、ナルク宮城）、NPO法人ミューズの夢（以下、ミューズの夢）の四団体です。

あみだくじで決めた順番により、

ミューズの夢からプレゼンが始まりました。ミューズの夢の仁科篤子理事長は活動十周年を記念したコンサート（詳細はP.7）の報告を行ったほか、震災のショックで休会・退会していた子どもがコンサートをきっかけにまた通えるようになったなど、震災後の子どもへの心のケアへの貢献もアピールしました。

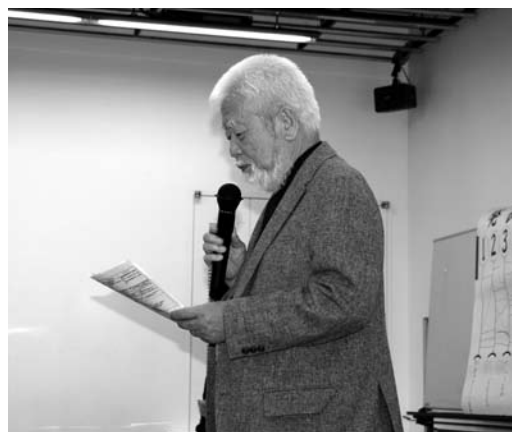
続いては、ささえ愛山元の中村怜子理事長による発表。山元町で活動するささえ愛山元は震災でデイホーム施設を流され、デイサービス施設も一階部分に被害を受けました。デイサービス施設はすでに修理を終えているものの、施設のある地域が第三種危険区域に指定されており、高台移転を余儀なくされています。

今後は移転先の高台に、仮設住宅の人々とともに手づくり品（廃タイヤを使った肩たたきなど）の作成を行う工場の設置も予定。今回の応募も手づくりの指導を行う先生を呼ぶなどの費用が必要なためでした。

浦戸アイランド倶楽部からは大津晃一理事長がプレゼンを行いました。

た。塩竈市寒風沢島で農業を中心とした離島振興をはかる浦戸アイランド倶楽部が現在進めているのが、グリーンライフ事業。寒風沢島外から若者を呼び込み農業研修生として協力してもらうというもので、滞在中の住居は無償提供する予定です。「楽しみながら農業に触れ、いずれば島の労働力となってもらえれば」と大津さんは語りました。

最後はナルク宮城です。梅津健次副代表から団体の活動が紹介されました。ナルク宮城は高齢者の相互扶助を目的としたボランティア組織。会員は二八〇名ほどで定年退職した人々が加入しています。ボランティア内容は主に移動サービスですが、庭掃除なども手掛けます。震災に対しては、パラスール喫茶を県内各地のべ五八か所で開催しており、その際ハンドマッサージとともに行われる



▲プレゼン終了後、総評を述べる大村虔一審査員長

傾聴が好評を博しました。

● ● ● 気になる大賞受賞団体は…… ● ● ●

四団体による発表の後、審査委員たちによる最終審査が行われました。公益性や将来性、表現力などのほか今年度は震災復興への貢献度も重視。難航した審査の結果、大賞はミューズの夢が受賞することになりました。ミューズの夢には賞金の一〇〇万円が授与される予定です。

後日、受賞の通知を受けたミューズの夢の仁科理事長は「障がいを持つ子どもたちやお母さんたちの笑顔に支えられ、音楽、コーラス、アートを愛する、様々な仕事を持つ会員の方達の温かい思いがこもった十年の歩みに対してのご褒美と受け止め感謝いたします」と感謝を表現。

最後に「この賞は公益性のある活動などに力を発揮したということは、もちろんですが、

『社会を明るく元気にした』という点にも注目しています。今回は、震災後の困難の中で障がい児たちの大きな喜びであったことが評価されました」と愛知理事長は大賞選考を締めくくりました。

財団法人愛知揆一福祉振興会

〒980-0183 仙台市青葉区米ヶ袋1-5-21
● TEL : 022-262-0666
● FAX : 022-227-1320



チェロ、ピアノ、マリンバ……さまざまな楽器の音がホールに響きます。昨年十一月二十四日に開催されたNPO法人ミュージズの夢十周年記念コンサート「音楽バスででかけよう！」に集まった約三五〇名の観客は、障がいを持つ生徒たちが奏でる音楽に聴き入りました。

十年間の集大成

NPO法人ミュージズの夢は、ハンディの有無に関わらず誰にでも芸術に触れ、楽しみや生きがいを感じてもらおうと活動している団体です。二〇〇二年に設立され、心身に障がいを持つ子どもと大人のためのアート（音楽と創作アート）教室運営のほか、病院や支援学校などへの訪問コンサートなどを行っています。

様々な場面で生き甲斐や生きる支えになってきた音楽を私たちがだからこそ皆と分かち合おうと、仁科篤子理事長が音楽家の仲間たちと活動を開始。音楽家ばかりでなく、福祉、医療など各方面の専門家の協力を募

り、一年後にNPO法人化しました。

仁科さんは障がいがあるからといって、低い完成度で妥協してはいけなと心に決めていました。指導する先生方の工夫と導き方により、生徒たちも諦めず練習を続け、一歩一歩成長してきました。

その十年の努力の成果を発表する場が、今回の記念コンサートです。

コンサートは二部構成、第一部はミュージズの夢の生徒による楽器演奏と客演演奏でした。どの生徒も身につけた実力を出しきり、会場は大きな拍手に包まれました。

団体立ち上げの頃からチェロを習ってきた男性は、仁科さんと「十周年記念コンサートと一緒に演奏しよう」と約束してきました。男性は努力を続けて腕を磨き、コンサート冒頭を仁科さんが弾くピアノとブ口のヴァイオリニストとのピアノトリオ（モーツァルト）の演奏で飾り、十年越しの夢を叶えたのです。

「子どもたちの日々の努力が実り、このような素晴らしいコンサートを開くことが出来ました。ミュージズの

夢の十年の成果、生徒たちの可能性の無限の広がりを感じて欲しい」仁科さんは来場者に語りました。

ハッピードールに夢に乗せて！

第二部は創作ミュージカル「みんなで出発！夢旅行」の上演です。

ミュージズの夢の生徒たちが作った人形、ハッピードールが世界中の子どもたちの所へ旅立つというストーリーで、生徒、会員による歌やダンス、楽器の演奏が披露されました。

このミュージカルはニューヨークの非営利団体HappyDoll.orgとのコラボレーションで実現しました。HappyDoll.orgは、子どもたちが自由に顔やメッセージを書いた人形、ハッピードールを、遠く離れた子どものもと



▲劇中でハッピードールをパイロットに託すシーン

に届けることで、世界の子どもたちの夢を繋げる活動をしています。

ミュージカルは生徒たちから『旅友達 夢』のキーワードで言葉を集め、会員たちでその言葉を紡ぎ、ストーリーと歌詞を作り、ニューヨーク在住の作曲家が作曲。バスなどの道具は保護者たちとアトクラスの先生と子どもたちが二日間かけて仕上げました。物語の要になるハッピードールは、保護者と会員が手作りの無地の人形に生徒たちが思い思いに顔やメッセージを書きました。

このハッピードールは舞台終了後、HappyDoll.orgの寺尾のぞみ理事長に託され、ミュージカル筋と同じように海外の子どもたちのもとへ旅立ちました。

「これまでの十年は、日々足元を見ながら一生懸命やってきたという感じが、これからの十年でも、ここに来れば音楽があつて、音楽と一緒に楽しむ仲間がいるという場所を続けていきたい」と仁科理事長は語ります。

ミュージズの夢の仲間たちは、仙台のスタジオで、音楽と一緒に楽しむ仲間をいつでも待っていてくれることでしょう。

NPO法人ミュージズの夢

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-19 6F

●TEL/FAX : 022-267-9540

●URL : <http://musenoyume.jp>

コミュニティビジネスにチャレンジ！ NPOのためのショッパ・ギャラリー使用団体募集中！

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

みやぎNPOプラザ（以下プラザ）には、NPOが販売やサービス提供などの事業を行う、ショッパ・ギャラリースペースがあります。これは、NPOのインキュベーター（育成）機能のひとつとして開館当初から設置され、県内はもとより全国的にみても非常に珍しいスペースとなっており、プラザの大きな特徴です。

このスペースはプラザに入って右側、往來からもよく見える一面ガラス張りの一面に、広さが10㎡の常設スペース二つと、短期で利用できる5㎡のスペースがあります。常設スペースの使用団体は審査委員による書類審査と公開審査を経て選ばれ、三年間使用することが出来ます。

ショッパ・ギャラリー スペースでの活動成果

これまで、このショッパ・ギャラリースペースを使用した団体は七団体。二〇一〇年四月から現在までは、クーシュの会とフラワーセラピー研究会仙台の二団体が使用し、間もなく使用期限の三年を迎えます。

クーシュの会は、人に相談しにくい排泄の悩み改善のため、紙おむつや失禁対策用の下着、排泄用品の展示、個別相談、講座などを行っています。代表の館重美さんは「プラザにショッパを構えて活動したことで、活動への理解や共感が広がり、想像以上に協力者

や支援者が増え充実した活動ができました。人材育成などに課題はありますが、これからのやってみたい事業はたくさんあります」と話します。

フラワーセラピー研究会仙台は、「花でコミュニケーション」を理念に、年齢や障がいの有無にかかわらず、花を媒体として癒しを提供する団体です。東日本大震災後には、避難所や仮設住宅でフラワーセラピー教室を展開してきました。「ショッパ」という拠点を持ったことで、積極的に活動に関わるメンバーが増え、メンバー同士のつながりも強くなりました。また、震災後には、県外からの支援を受け入れて被災地で活動をしてきましたが、これはショッパという誰もが集まれる拠点がなければできなかつたと思います」と代表の上野みち子さん。

また、両団体とも、ショッパ



▲手前がフラワーセラピー研究会仙台、奥がクーシュの会のショッパスペース

の売り上げや関連活動によって増えた収入を、団体の運営費用や新たな活動に充当できるようにすることも成果のひとつです。

コミュニティビジネスとNPO

コミュニティビジネスは、市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法で解決するものです。また、地域の人材や、ノウハウ、技術、文化、産業などの地域資源を活用して取り組むことから、新たな雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化にもつながると見られています。

一般的なビジネスはその最大の目的が利益追求であるのに対し、コミュニティビジネスは「地域の課題解決」といった公益を優先するところが大きな違いです。公益を優先するという点はNPOも同様です。NPOは市民が自主的・自発的に組織して社会貢献活動を行うことを目的とするため、コミュニティビジネスの担い手として注目され、今後、事業主体として取り組む団体はますます増加すると考えられます。そのため、プラザのようなNPO支援施設にもその支援力がより一層求められています。

プラザでは、組織運営や事業経営に関する専門家による相談会の実施、講座などの学びの場の提供、団体の情報発信のサポートなどを通してショッパ・ギャラリー使用

団体の支援を行ってきました。今後は、NPOがプラザを出て地域社会に拠点を構え、自立してコミュニティビジネスができるようなサポートも目指しています。

ショッパ・ギャラリー 使用団体募集

二〇一三年四月からショッパ・ギャラリースペースを使用する二団体の申込の受付を二〇一三年一月から開始します。申込みの締切は二月十五日（金）です。募集の詳細や申込書は、プラザ館内のほか、「みやぎNPO情報ネット」からも入手が可能です。

三年間、ショッパ・ギャラリースペースでコミュニティビジネスに挑戦して、プラザとともに、地域社会で必要とされるNPOを目指しましょう。

◆これまでにショッパスペースを利用した団体一覧（短期を除く）

団体名称	利用期間
地域・国際貢献サークル フォーラム夢	平成13年4月～平成15年3月
ユニバーサルファッション工房 繕	平成13年4月～平成18年3月
NPO法人みやぎ「こうでねい」と	平成17年8月～平成18年4月
フルタイム「耕江」	平成18年10月～平成21年7月
NPO法人東北アウトドア情報センター	平成19年7月～平成21年11月
みやぎ・クーシュの会（※）	平成22年4月～平成25年3月
フラワーセラピー研究会仙台	平成22年4月～平成25年3月

※クーシュの会に名称変更

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
（指定管理者：（特活）杜の伝言板ゆるる）

TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533

E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

こ〜ぶほっとわ〜く基金

- 助成対象：高齢者・障がい者・児童の生活支援活動、住みよい社会を作るための調査・研究活動、交流集会・研究会・シンポジウムの開催等の非営利活動
- 助成団体：宮城県内で活動する非営利の団体・個人
※これまで3回の助成を受けている場合は対象外
- 助成金額：原則として上限30万円
※講演会・フォーラム・演奏会などの開催に対しては、全国規模10万円・宮城県内規模5万円をめぐに助成
- 募集締切：1月20日(日)消印有効
- 連絡先：みやぎ生協 生活文化部 福祉・文化活動事務局
こ〜ぶほっとわ〜く基金係
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
TEL：022-218-5331 FAX：022-218-3663
E-mail：sn.mfukushinet@todock.jp

平成25年度 一般助成

- 助成対象：【事業・活動】①身体障がいなどの理由により困難な状況にある幼児・若年者の育成・教育支援 ②社会的・家庭的事情により一般の教育施設での教育を受けられないものへの教育支援 ③市民、特に若年者の健全な社会的生活に必要な各種の啓蒙活動や支援 ④障がい者・高齢者・各種施設居住者の諸活動の支援 ⑤障がい者・高齢者・厚生施設の人たちに対する芸術的慰問
※原則的に1年以内に終了する事業を対象とする
【設備・備品購入】学校やその他の教育施設における身障者の学習を援助する機器や備品の購入、【事業・活動】の各項目に関連して必要な備品の購入や施設の整備
- 助成団体：実際に日本国内で活動している団体ないし個人・グループ
※拠点となる事務所があり、組織と団体責任者および会計責任者が確立していること
- 助成金額：【事業・活動】上限50万円
【設備・備品購入】上限100万円
- 募集締切：1月21日(月)消印有効
- 連絡先：公益財団法人俱進会
〒160-0017 東京都新宿区左門町9 玉盛ビル301
FAX：03-5366-5040
E-mail：mail@gushinkai.com

平成25年度地球環境基金助成金

- 助成対象：・国内または海外に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境保全活動・国内に主たる事務所を有する民間団体による国内における環境保全活動
- 助成の種類：①一般助成／先進性または波及効果の高い広域的な活動に対する助成
②入門助成／これまで地球環境基金から助成を受けたことがない団体が行う活動を対象とする助成
③特別助成／平成24年度に特別助成を受けて実施した活動(東日本大震災および「リオ+20」に関連した活動)に対する助成
- 助成団体：民間の発意に基づき活動を行う営利を目的とし

ない法人、その他の団体

- 助成下限金額：一般助成・特別助成：100万円 入門助成：50万円
- 助成期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 募集締切：1月25日(金)必着 持ち込みは18:00まで
- 連絡先：独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部地球環境基金課
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー 8階
TEL：044-520-9505 FAX：044-520-2190
URL：<http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/flow.html>

平成24年度 パタゴニア「環境助成金プログラム」(第2回)

- 助成対象：定量化が可能で具体的な自然環境保護活動
- 助成団体：環境問題の根本的な原因を見極め、働きかけ、そして長期的な視点で問題解決のアプローチを行っているグループ
- 助成金額：20万円～70万円
※金額は活動内容、用途などにより異なります
※助成実行は締切日の2か月後を目安としています
- 募集締切：1月31日(木)消印有効
- 連絡先：パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム係
〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12
TEL：0467-23-8961

2013年度(第8回)患者会支援 活動資金助成

- 助成対象：・会の自立や役員・リーダー・相談員の養成が期待できる活動
・大災害に対する会の取り組み
- 助成団体：患者・患者家族の会、患者会の連合組織等
- 助成金額：1件あたり上限50万円(総額850万円)
- 助成期間：2013年4月1日～2014年3月末(1年間)または2013年4月1日～2015年3月末(2年間)
- 募集締切：1月31日(木)当日消印有効
- 連絡先：アステラス製薬株式会社 総務部 スターライトパートナー担当
〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2-3-11
TEL：03-3244-5110 FAX：03-5201-6611
E-mail：star-light@jp.astellas.com

第2回実践活動助成

- 助成対象：これからの時代を担う若者たちが、自らの可能性や能力に気づき、それらを社会や他者に対して惜しみなく発揮していけるようなプログラムや活動
※中学生以下の子どもに対しての活動は対象になりません
- 助成団体：東北地方(岩手県、宮城県、福島県)で活動するNPO法人、NGO、大学のクラブ・サークル、ボランティア団体、地域の福祉団体など
※2013年4月までに2年以上の活動実績があること
- 助成金額：1件あたり上限100万円(助成件数：3件)
- 助成期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間
- 募集締切：1月31日(木)当日消印有効
- 連絡先：一般財団法人人間塾事務局 助成金担当係
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-13 セブンスビル1階
TEL：03-6272-6147(10:00～17:00)
E-mail：activity@ningenjuku.or.jp

※会場には駐車場がありません。お近くのコインパーキングをご利用ください。

- 内 容：商品展示・交流(12:00～17:00)
「全体会」(13:00～14:35)
・参加団体自己紹介 ・まけないゾウ事例紹介
・県内事例紹介 ・手作り商品カタログ紹介
「プログラム」(14:45～16:15)
・販路拡大について ・商品開発について
・助成金について
- 参 加 費：無料
- 主 催：復興みやぎネットワーク会議 生活再建WG
- 申込方法：所定の用紙に記入の上、下記連絡先までFAXまたはメール
- 申込締切：1月15日(金)
- 連 絡 先：みやぎ連携復興センター(担当：三浦)
TEL：022-748-4550 FAX：022-748-4552
E-mail：renpuku@gmail.com

2/2 着物をリメイク♪ 貝のおひな様作り

ひな祭りに向けておひなさまを作りますか？
着古した着物の生地や帯などを大きめの貝に貼り付け、おひなさまを作ります。
※貝がらや着物生地などはこちらで用意します

- 日 時：2月2日(土) 13:30～14:30
- 場 所：フォレスト仙台ビル5F MELON事務局内スペース
通称「MELONcafe」(仙台市青葉区柏木1-2-45)
- 定 員：10名(申込先着順)
- 参 加 費：400円 ※MELON会員：300円
- 申込方法：(1)参加日時、(2)氏名、(3)連絡先、(4)一般or会員を明記の上、電話、FAX、メールにて申込
- 持 ち 物：タンブラー or マイカップ
- 主 催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
- 連 絡 先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5階
TEL：022-276-5118
FAX：022-219-5713
E-mail：melon@miyagi.jp.org

2/3 平成25年度 家庭倫理講演会「おかあさん」

私たちの暮らしを取り巻く問題は、深刻かつ多岐にわたっています。その要因の一つは家庭教育力の低下にあると考え今回の講演会を開催します。

- 日 時：2月3日(日) 10:30～12:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室

- 講 師：町筋幸江氏(専任講師)
- 参 加 費：1,000円
- 主 催：社団法人倫理研究所
- 企画・連絡先：家庭倫理の会宮城
TEL：080-3146-0027(阿部)

2/9 キッズベース ウインターツアー 2013 "雪と氷の中で1日中遊んでみよう!"

- 日 時：2月9日(土) 9:00～17:30
※日程は変更になる場合があります
- 場 所：七ヶ宿スキー場(刈田郡七ヶ宿町俣ノ上129)
- 内 容：★スノーシューハイキング
★雪遊び(雪合戦、かまくらづくり)
- 対 象：年長児と小学1～6年生、保護者
- 定 員：40名
- 参 加 費：5,000円(交通費、昼食代、おやつ、飲み物、ウェア、レンタル品込み)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連 絡 先：〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央1-1-17-906号
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：talisman@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

2/9 ☆わくわくどきどき!体験は宝物☆ お魚がきっと好きになる料理教室 ～海の幸でごちそう作り～

旬の海の幸を使って料理を作ります。売り場探検など、楽しく学び、お魚大好きになろう。

- 日 時：2月9日(土) 10:30～14:00
- 場 所：みやぎ生協幸町店 調理室
- メニュー：★ぶり照りごはん ★ぶりの炙りカルパッチョ
★はまぐりのお吸い物 ★うぐいす餅
- 定 員：幼稚園・小学生の親子10組と大人4名
- 参 加 費：1組1,500円、大人のみ1,000円
- 申込方法：住所、電話番号、氏名(ふりがな)、年齢、参加申し込みイベント名を明記し、ハガキ・FAX・メールにて下記連絡先まで申込
- 申込締切：1月31日(木)
- 主 催：食育NPO「おむすび」
- 連 絡 先：(代表：清水)
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
(事務局：木村)
〒984-0822 仙台市若林区かすみ町1-47
TEL/FAX：022-285-0824

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで



MIA日本語サポータービギナー研修会

TEL/FAX : 022-796-8091
E-mail : tohoku@e-elder.jp
URL : http://www.e-elder.jp/tohoku/

日本語ボランティアの「いろは」を一緒に学びませんか？

- 日 時：1月22日(火) 13:00～16:00
- 場 所：宮城県国際化協会 交流ラウンジ(仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7階)
- 講 師：鈴木英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 内 容：★地域の国際化と日本語ボランティア活動について
★外国語としての日本語・やさしい日本語について
★日本語学習教材の紹介など
- 対 象：MIA日本語サポーター登録者で外国人の日本語学習支援について基礎から学びたい方、経験がない方
- 定 員：15名(先着順)
- 申込方法：下記連絡先まで要事前申込
※MIA日本語サポーターに未登録の方は、事前に登録をお願いします
- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
- 連 絡 先：仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL : 022-275-3796
E-mail : mail@mia-miyagi.jp
URL : http://mia-miyagi.jp/



登米市セカンドライフ講座

お手伝いします、あなたの地域デビュー！
あなたの経験力を地域に活かしてみませんか！

- 日 時：★NPO入門 期待されていますシニア世代
1月23日(水) 14:00～
★NPO基礎講座 地域活動に自分を生かそう
2月13日(水) 14:00～
- 対 象：概ね50歳以上で地域活動に関心のある方
2講座受講が基本
- 定 員：10名(先着順)
- 主 催：登米市、とめ市民活動支援協議会
- 連 絡 先：登米市市民活動支援課 TEL : 0220-22-2173
とめ市民活動プラザ TEL : 0220-44-4167



NPOのためのIT相談 ～組織の運営や日々の活動にもっとITを活用しよう～

NPOの活動が多く市民から信頼され支持されるためには、日頃の活動について積極的に情報を発信することが最も重要です。ITに関することなら何でも相談に応じます。

- 日 時：1月25日(金) 13:00～16:00
※相談時間は1団体約1時間
- 場 所：みやぎNPOプラザ 研修室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 相 談 員：イー・エルダー東北支部会員
- 対 象：非営利団体であれば法人・任意は不問
- 定 員：2団体(先着順) 相談時間は1団体約1時間
- 参 加 費：1,000円(当日会場で申し受けます)
- 申込方法：下記連絡先よりダウンロードの所定の申込用紙に、必要事項を明記の上、郵送・FAX・メールにて申込
- 申込締切：1月18日(金)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連 絡 先：〒981-1246 名取市相互台3-18-5



第9回 障がい児の放課後づくりのつどい ～障がい児のためのこれからの放課後～

- 日 時：1月26日(土) 13:00～16:30(開場12:30)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 2階ふれあいホール
- 内 容：★基調講演「学校・地域との連携・協働による支援の実現のために」
講師：野口和人氏(宮城教育大学特別支援教育総合研究センター教授)
障がい児の放課後がより「安心・安全」な時間となるために必要な事、重要性、その効果についての基調講演です
★パネルディスカッション
事業所、各関係機関の方々と交えて、「学校・地域との連携・協働」の現状と課題の共有を行い、「障がい児のためのこれからの放課後」のあり方を皆様と共に考えます。
- 対 象：どなたでも
- 定 員：300名
- 参 加 費：無料
- 託 児：あり(定員10名)
- 申込方法：不要。直接会場にお越しください
- 主 催：放課後ケアネットワーク仙台
- 連 絡 先：放課後ケアネットワーク仙台/啓発部会
〒981-0952 仙台市青葉区国見ヶ丘1-6-16
TEL : 022-303-5170 FAX : 022-303-5178
E-mail : n2ie@sendan.or.jp



サラリーマン介護講座 「知っておきたい介護保険」

将来、介護が必要になった時のために、働き盛りの方を対象に介護に関する知識を学びます。

- 日 時：1月26日(土) 13:30～15:30
- 場 所：仙台市シルバーセンター 6F 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 対 象：仙台市内にお住まいかお勤めの方
- 参 加 費：無料
- 定 員：30名
- 申込方法：下記連絡先まで電話またはFAXにて申込
※FAX送信内容：(1)講座名、(2)氏名、(3)電話番号
- 主 催：財団法人 仙台市健康福祉事業団
- 連 絡 先：財団法人 仙台市健康福祉事業団 介護研修室
(仙台市シルバーセンター内)
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
TEL : 022-215-3711 FAX : 022-215-3718



復興ものづくり交流会in石巻

宮城県内には仮設住宅などで作られた素敵な手仕事品がたくさんあります。自身の作品を紹介し、他の作品を間近で見られる交流会を石巻で開催します。商品開発や販路拡大のアドバイスも得られる機会になっております。ふるってご参加ください。

- 日 時：1月27日(日) 12:00～17:00
- 場 所：みやぎ生協文化会館アイトピア(石巻市中央 2-7-3)

1/17 ～日本の未来は女性が創る～ 明日の経済を担う女性たちの交流会in仙台

東日本大震災からの復興を進めるために様々な分野で女性の参画が求められています。特に職場における女性のエンパワーメントを進めるために、この交流会では、現在企業の中で生き生きと活躍されている女性役員や管理職の方をパネリストとして迎え、キャリアアップに向けてのヒントやアドバイスを満載したパネルディスカッションを行います。その後のパネリストの方々と交えての交流会にも是非ご参加ください。

- 日 時：1月17日(木) 18:00～20:30
- 場 所：エル・パーク仙台
- 内 容：★パネルディスカッション
パネリスト兼コーディネーター：岩田喜美枝氏
(財団法人21世紀職業財団会長)
パネリスト：仙台市内の企業で働く女性管理職の方3名
★交流会(軽食あり)
- 対 象：企業で働く女性(リーダー及びリーダーを目指す女性)
- 定 員：60名(先着順)
- 参 加 費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先までお問合せください
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団、財団法人21世紀職業財団
- 連 絡 先：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
(エル・ソーラ仙台)
TEL：022-268-8044

1/19 みんなつながれ! 杜の子まつり え・が・お in東中田

親子で楽しむ遊びのブースやクラウンショーなど、「え・が・お」いっぱいイベントです!

- 日 時：1月19日(土) 10:30～12:30
- 場 所：東四郎丸コミュニティセンター
(仙台市太白区四郎丸字大宮26番地の10)
- 内 容：★あそびのコーナー
ターゲットプレシート、的あてゲーム、迷路、工作ほか
★びりとさくちゃんのクラウンショー
- 参 加 費：無料
- 主 催：NPO法人 せんだい杜の子ども劇場
- 連 絡 先：〒981-3133 仙台市泉区中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.net.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

1/19 「参加型ライフプランセミナー～あなたの人生設計をイメージしてみませんか～」

1000人以上のお客様のライフプランを提案し、アドバイザーとして活躍中の神谷健司さんを迎えての講座です。これからの人生や結婚に不安がある方、この講座で人生設計を具体化しましょう!

- 日 時：1月19日(土) 13:00～15:00
- 場 所：登米市迫公民館 研修室(登米市迫町佐沼中江)
- 内 容：「結婚の事、これからの事、あまり考えていなかったけど、何となく不安だなあ…」そんなあなたにお勧めの内容です。今回は参加型・実践型のセミナーになっているので、参加するあなたの人生が具体的にイメージできるかも!?是非セミナーにお越しください!
- 対 象：20歳以上の独身の方
- 参 加 費：無料(事前申し込み要)
- 主 催：NPO法人ワーカーズコープ
- 連 絡 先：NPO法人ワーカーズコープ
TEL：080-3193-2266
E-mail：tomekonkatsu@yahoo.co.jp

1/20 「心のネットワークみやぎ」大会2012 ～私たちにとって『しごと』とは～

- 日 時：1月20日(日) 10:00～15:45(受付9:30～)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
- 内 容：【午前の部】
★第1部 基調講演「障害者権利条約と私たち精神障害者」
講師：関口明彦氏(内閣府 障害者政策委員会委員)
★第2部 講演「私にとって仕事とは～『就労すること』と『生きること』～」
講師：菅野有紀氏(心のネットワークみやぎ会員)
- 【午後の部】
★分科会
(1)はたらくこと (2)恋愛と笑い (3)長期入院者が地域で暮らすには (4)なんでも語ろう!
- 参 加 費：無料
- 申込方法：名前、電話番号、参加希望の分科会を明記の上、FAXまたはメールで申込
申込先：心のネットワークみやぎ大会2012事務局
FAX：022-375-4551
E-mail：qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp
- 主 催：精神障害者自助グループ「心のネットワークみやぎ」
- 連 絡 先：〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘4-24-23-203
(佐川美紀方)
TEL：080-3140-7698

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
宮城県等所轄分11月11日～12月10日/仙台市所轄分11月11日～12月10日			
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 移動支援Rera	石巻市	移動困難な人々に対する送迎活動等のサポート事業	11/22
アスヘノキボウ	牡鹿郡女川町	地域の活性・発展・変革を実現する為の各種計画を作成し、実行する事業	11/30
仙台市 宮城県セーリング連盟	太白区	セーリングスポーツ競技会及び講習会並びにセーリングスポーツ普及のための行事の開催、後援及び援助、セーリングスポーツに関する指導者の育成等	11/14

NPO法人に認証された団体			
宮城県等所轄分11月11日～12月10日/仙台市所轄分11月11日～12月10日			
団体名	所在地	活動内容	認証日
仙台市 恋愛	宮城野区	結婚相手を紹介する事業、恋愛・結婚についての相談会を行う事業	11/15
アミスタ プレシャ スチルドレン	泉区	青少年の健全育成のためのフットボール指導事業、地域住民に対するフットボール競技大会及び各種イベントの開催協力事業等	12/5

宮城県のNPO法人数

685

※2012年12月10日現在
宮城県等所轄:302団体
仙台市所轄:383団体

事業案内

石巻パソコン教室「パソコンを楽しむ」

あなたのペースに合わせて、文書やはがき作成、表計算を学びませんか？メールやインターネットも学ぶことができます。またあなたのノートパソコンを持参しての学習も可能です。

- 日 時：毎週火曜日 14:00～16:00
- 場 所：市民協・いしのまきハウス(石巻市田道町1-15-2)
- 参加費：1000円(1回)
- 対象：初心者
- 定 員：5名
- 主 催：NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ
〒986-0872 石巻市田道町1-15-2
TEL: 0225-23-9066

岩手・宮城・福島NPO法人対象

認定取得の事前診断から申請書作成まで、とことんサポートします

電話相談や、インターネットによる「認定取得サポートシステム(2012年12月運用開始)」を活用することで、事務所やご自宅で、認定取得支援専門スタッフのサポートを受けることができます。さらに出張相談を組み合わせれば、実際の会計書類等を参照し、よりの確に申請書のチェックが可能。遠隔地と現地のダブルサポートで、認定取得をとことん応援いたします。

- 相談内容：認定NPO法人の取得申請に関すること
- 対象：岩手県・宮城県・福島県に主たる事務所のあるNPO法人
- 実施期間：2012年12月～2013年3月8日
- 対応時間：平日の10:00～17:00
※祝祭日、年末年始は除く
- 料 金：無料(通話料はお客様のご負担となります)
- 申込方法：所定の申込書の記載項目をすべて記入のうえ、下記連絡先までFAXもしくはメール
- 事業主体：NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 連絡先：NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
〒102-0075 東京都千代田区三番町24-25
三番町TYプラザ3F
TEL: 03-3221-7155 FAX: 03-3221-7152
E-mail: npoweb@abelia.ocn.ne.jp
URL: http://www.npoweb.jp/

イベント

1/12 デフ・ウィンターフェスティバル in SENDAI vol.3 震災復興手話イベント

世界や国内で活躍されているダンスパフォーマー、手話パフォーマー、デフマジシャン、デフ俳優、デフ落語家など異色のメンバーが仙台に参集し、復興手話イベントの応援にかけつけます。皆で「絆」をより深め新しい年を迎えましょう！！

- 日 時：1月12日(土) 18:00～20:30(開場17:30)

- 場 所：仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 定 員：250名
- 参加費：入場整理券(前売)
大人1,500円、学生(高校、専門、大学)1,000円
学生(小学、中学)500円、小学生以下無料
- 申込方法：代表者の氏名、住所、メールアドレス、FAX、希望チケット種類と枚数を明記して、メールまたはFAXで申込
※受付確認後、事務局より整理券代金の振込先をお知らせします
※入金確認次第整理券を送付いたします
- 主 催：デフ・ウィンターフェスティバル in SENDAI
- 連絡先：〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷2-1
第1市営住宅1-313
FAX: 022-251-6189
E-mail: deaf-mute-masakari@r5.dion.ne.jp

1/12 非行と向き合う親たちの会 リレーションシップみやぎ 定例会

私たちは、生きづらさ(「非行」や荒れなどの問題)を抱えた子どもを持つ親の自助グループです。
秘密は厳守。安心して話せます。どうぞいらしてください。
お待ちしております。

- 日 時：1月12日(土) 14:00～
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
- 主 催：リレーションシップみやぎ
- 連絡先：TEL: 080-1838-7464(星野)
080-2807-9975(本田)

1/12 世界のお正月！！

仙台に住む留学生が、「世界のお正月」イベントを開催します。各国のお正月の文化を紹介します。モンゴルの挨拶の仕方、韓国のゲーム、ブラジルのクイズを通して、留学生と一緒に「世界のお正月」を体験してみませんか？

- 日 時：1月12日(土) 14:00～16:00
- 場 所：仙台国際センター 交流コーナー 1F
- 対象：どなたでも ※小学生は保護者同伴
- 定 員：30名程度
- 参加費：無料
- 主 催：財団法人 仙台国際交流協会
- 連絡先：TEL: 022-265-2480
E-mail: kawaai@sira.or.jp

1/13 テーブルゲームであそぼう！ 11

日本語やドイツ等のテーブルゲームを、子どもから大人まで一緒に遊びます。ご家族や友だち同士でぜひご参加ください。

- 日 時：1月13日(日) 13:00～16:30
※時間内出入り自由
- 場 所：せんだいメディアテーク7階会議室b
- 参加費：無料(事前申込不要)
- 主 催：こりれいず
- 連絡先：(代表：須藤)
TEL: 070-5470-6355
E-mail: korireizu@gmail.com

【登録ヘルパー】

- 仕事内容：介護保険と介護保険以外のヘルプサービス
- 資格：ヘルパー2級以上

【共通事項】

- 賃金：当社規定による
- 募集主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：〒983-0841 仙台市宮城野区原町2-3-58
YKビル4階
TEL：022-292-7552 FAX：022-257-1510
E-mail：youandi@jeans.ocn.ne.jp
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/

- 募集内容：現地取材、ホームページ作成、出版物作成
- 掲載内容：・被災および復興の状況
・支援マップ(仮設住宅、復興商店街、NPO事務所、ボランティアセンター)
・現地で活動しているNPO・ボランティア状況
・交通アクセス など
- 主催：東北震災復興ツーリズム協会(とほくる)
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター レターケースNo.66
TEL：070-6564-9908(瀧澤)
E-mail：otegami@tohokuru.com
URL：http://tohokuru.com

お知らせ

ライブメッセージ2013！ 発表者募集

障害のある方々が日頃打ち込んでいる活動や、自分のライフスタイルをステージと各ブースを使い、パフォーマンスやデモンストレーション映像や主張での発表などの方法で来場の方々に広くアピールできるイベントです。さあ、この機会に自分のことを多くの人に知ってほしいと思っているあなた！是非、このチャンスにご応募ください。

- 日時：2月11日(月・祝) 13:00～16:00
- 場所：仙台市福祉プラザ1F プラザホール
- 内容：・前半は各ブースでの説明や発表
・後半は各組ごとにステージ発表
- 対象：宮城県在住で、心身に障害のある個人、あるいは団体のみなさん
※以前、本事業に出場したことがある人を除く
- 発表者数：5～6組程度(個人あるいは団体でも可)
- 申込方法：所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送またはFAXにて申込
※申込先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2(宮城県障害者福祉センターあて)
FAX:022-297-0721(ライブメッセージ事務局まで)
- 申込締切：1月18日(金) 17:00必着
- 主催：宮城県障害者福祉センター
- 連絡先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2
TEL：022-291-1585 FAX：022-297-0721
URL：http://shinsho-miyagi.or.jp/miyasyou/

「復興現場の歩き方」出版プロジェクト 協力者募集

一緒に被災地を案内するガイドブックを作りませんか？興味がある方はお気軽にご連絡ください。

電話相談

「心のさろん」Open

まずは誰かに話してみませんか？

「心」の被害は目に見えるものではありません。私たちは、「心のサロン」をOPENし、主に女性の方を対象に心の声を拾い、一歩前へ踏み出すために、寄り添います。まずは、「何でもいいよ 話してみよう」として一緒に考え、答えのヒントを見つけてみましょう。必要に応じて相談機関の情報提供等をはじめとした電話相談を行います。

- 相談電話番号：022-257-1376
- 日時：1月13日(日)、1月27日(日)、2月7日(木)
いずれも11:00～15:00
- 主催：心のさろん
- 連絡先：心のさろん
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL / FAX：022-257-1376

ママパパライン®全国キャンペーン2013 気軽に何でも話せる子育て応援ダイヤル！

子育て中のママさんパパさん、不安や悩み、ストレスなどたまった思いを話してみませんか。匿名で、どんなことでもOK。「ママパパライン」は先輩ボランティアが受け止める子育て応援電話です。

- 相談電話番号：022-773-9140
- 日時：1月28日(月)～2月2日(土) 10:00～16:00
※上記以外の期間は毎週金曜日10:00～16:00に開設
- 主催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 問合せ先：NPO法人せんだい杜の子ども劇場

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.12.16現在)敬称略

●正会員 48名

- ★岩沼市 ●NPO法人ホームひなたぼっこ
- ★仙台市 ●齋藤純子

●賛助会員 96名

- ★仙台市 ●医療法人社団仙台腎泌尿器科
院長 豊田精一
- 仙台市社会福祉協議会

会員募集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

- 会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

ボランティア情報

子ども・若者の学びをサポートしてみませんか？ 学習支援ボランティア募集

まきばフリースクールは、ひきこもり・発達障害等、さまざまな生き辛さを抱える本人や家族の心の安定を支え、教育・生活・就労に関する支援を行います。フリースクールの子ども・若者がそれぞれのペースで学び、成長するための支援をお願いします。

- 日時：毎週月～金曜日 10:00～17:00
※上記の曜日や時間帯のうち、応相談
- 場所：まきばフリースクール
- 内容：学習支援ボランティア
- 待遇：交通費支給 ※当団体規定による。上限あり
- 申込方法：メールの件名を「学習支援ボランティア希望」とし、下記連絡先まで申込 ※詳細は面接にて
- 主催：NPO法人まきばフリースクール
- 連絡先：〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18
TEL：0228-25-4481 FAX：0228-25-4482
E-mail：makibafree@mail.goo.ne.jp
URL：http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free

有給スタッフ

託児サポーター（有給スタッフ）募集

子育て中の「パパ」「ママ」のお手伝いをするを目的とした有償の託児ボランティア団体です。今回、託児のサポーター（有給スタッフ）を若干名募集します

- 活動場所：仙台市泉区内と泉区周辺市町村の利用会員宅、サポーター宅の他に集団託児依頼先の指定場所
- 対象年齢：0歳から小学6年生までのお子さんとその兄弟
- 資格：子育て経験があり子どもが好きな方
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 募集主体：NPO法人子育て支援アシスト・エフワン
- 連絡先：〒981-3202 仙台市泉区北高森12-11
TEL：080-1852-8181
E-mail：a.f.8181@docomo.ne.jp

みやぎ復興応援隊サポートプロジェクト 被災地の地域づくりのタネとなる人を支える、仕事人募集！

2012年より「みやぎ復興応援隊」が結成され、各市町を単位にさまざまな活動を展開しています。
みやぎ連携復興センターでは、宮城県内各地で被災地に寄り添い活動する「みやぎ復興応援隊」へのサポートプロジェクトを開始します。本プロジェクトを通じて、宮城県内で自発的

に地域を支える人材・団体を発掘・育成し、自治体以外の新たな公共の担い手を生み出すことを目指します。

- 業務内容：★応援隊サポートのコーディネート
★応援隊広報のコーディネート
★事業周知のための報告会のコーディネート
- 期待する成果：本プロジェクトの実施を通じ、復興応援隊のサポートのみならず、地域の復興・まちづくりを長期的に担う人材の発掘・育成につながることを期待します
- 条件：・期間：3カ月以上
・勤務地：宮城県仙台市
・活動支援金：100,000～150,000円/月（委細面談）
※ETIC.震災復興リーダー支援基金より支給
・通勤手当：上限15,000円まで
・生活支援：宿泊場所なし、住宅手当なし、食事手当なし、現地交通費支給あり
・その他：継続雇用の可能性あり
- 応募方法：所定のエントリーシートを記入の上、メールで送信して申込
エントリーシートは「みちのく仕事」(<http://michinokushigoto.jp/>)からダウンロード可能
- 受入団体：みやぎ連携復興センター/NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先：NPO法人ETIC.
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-5-7
APPLE OHMIビル4階
TEL：03-5784-2115 FAX：03-5784-2116
E-mail：fukkou@etic.or.jp
URL：http://michinokushigoto.jp/

介護支援専門員、サービス提供責任者、 登録ヘルパー募集

あなたの持っている資格を生かしませんか！
NPOだからこそできる「自分を生かせる」職場です。

- 【介護支援専門員（常勤）】
- 仕事内容：介護サービスの利用計画作成、サービス事業者との連絡・調整、利用者からの相談対応など
- 資格：介護支援専門員
- 勤務時間：9:00～18:00（昼休み1時間）
- 休日：土・日・祝日
- 【サービス提供責任者（常勤）】
- 仕事内容：利用者に関わる業務・契約・訪問介護計画作成、初回同行訪問、代行、モニタリング
ヘルパー研修の企画・実施、ヘルパーシフト作成 他
- 資格：介護福祉士、介護職員基礎研修修了者、普通自動車免許
- 勤務時間：9:00～18:00（昼休み1時間）
- 休日：土・日・祝日

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業／支援の輪をつなぐ子育て応援まつり開催事業

みんなつながれ!

杜の子 まつり

ぜんぶ 参加無料 エルパーク仙台
(三越定禅寺通り館)

【主催】NPO法人せんだい杜の子ども劇場
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX:022-375-3548
<http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8>
【連携】みんなつながれ!杜の子まつり推進委員会

2/3
日

時間 10:30~16:30

場所 スタジオホール、セミナーホール、
ギャラリーホール、和室他

かえっこ
バザール

10:30~13:00

★遊ぼう!作ろう!コーナー
★おもちゃのかえっこコーナー

芸術体験
コーナー

13:30~16:30

★ミュージカルすてきなさんにんぐみ
(演劇企画オフィス・アートプラン)
13:30~14:30
★アンディ先生のマジックショー
15:00~16:30

2/23
土

時間 13:30~16:30 場所 セミナーホール
(開場 13:00)

フォーラムディスカッション

『アートでつなぐ子どもの笑顔→人×地域2013』

第13期

50歳からのNPO実践塾



人生の円熟期を迎えたミドル&シニア世代の皆さま!
これまでに培われた社会経験を市民活動に生かしてみませんか?
全6回の“実践的”プログラムを通して、団体や事業の立ち上げに導きます!

- 対象:おおよそ50歳以上の方々
- 時間:各回とも14:00~16:30
※16:00~16:30は懇談タイム(参加自由)

START

第1回 1月19日(土)
まずは顔合わせ&NPOとは
塾生同士の紹介をしながら仲良くNPOの
基礎知識を学びましょう

第3回 2月16日(土)
実践者から聞く
実際にNPOを立上げ、運営に携わっ
ている方をお招きしてお話を聞きます

第5回 3月23日(土)
NPO立ち上げプランニング・ワークショップ(2)
第4回に続き、自分が立上げたいNPOについて考え、具
体的な活動計画書を立てましょう

第2回 2月2日(土)
ワークショップ「キャリアの棚卸」
自分を振り返り、何が出来るか・どう貢献す
るかを探ります

第4回 3月2日(土)
NPO立ち上げプランニング・ワークショップ(1)
自分が立上げたいNPOについて考え、塾生同士で意見交
換をし、活動計画を立てましょう

第6回 3月30日(土)
NPO活動プラン発表会・修了式
立てた計画を各自発表し、実現の可能性を
探ります

GOAL

●定員:16名(申込先着順) ●参加費:4500円(資料代など)

※都合により日程を変更する場合があります

主催:宮城県(みやぎNPOプラザ) 企画・実施:NPO法人杜の伝言板ゆるる 申込先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)